

No. 4

事業名	青少年地域貢献活動ネットワーク事業 ～ＹＹボランティアセミナー～
事業の特徴	中高生対象のボランティア養成事業（養成講座の中で活動先での体験実習などの工夫、中高生による企画イベントなど意欲の喚起、活動想定先の担当者の講座への参加協力など学習と活動のマッチングの仕組み）

実施機関名	山形県教育庁村山教育事務所社会教育課
連絡先	〒991-0003 山形県寒河江市大字西根字石川西355 TEL 0237-86-8274 FAX 0237-86-8263
事業規模	都道府県（政令指定都市を含む）
事業主体	教育委員会
事業のテーマ分野	若者のボランティアリーダー養成

1 事業の概要

ＹＹボランティアセミナーは「ＹＹ（やまがたヤング）ボランティア」の事業の一つとして中高生を対象に県内4地区で実施されている。

ＹＹボランティアとは山形県で産声を上げた地域を単位とした青少年ボランティアの総称である。しかし、近年、山形県内の地域青少年ボランティアサークルの数と会員数は減少傾向にある。加えて、市町村のイベントなどに協力することが主な活動となり、活動のマンネリ化も伴い、自主的な活動をあまり実施できないサークルも多い現状である。



アイスブレイキング



参加者・指導者の集合写真

そこで、サークルへの加入を促すとともに、会員のスキルアップと活動の活発化を図り、自主的な活動ができるようにするため、本事業を企画した。

2 事業の趣旨、目的

ボランティアについて識見を深める学習会やボランティア実体験を通して、これから地域等でボランティアを始めようと思っている中学生・高校生の理解を深め、地域青少年ボランティアサークルへの加入のきっかけを作るとともに、すでに地域青少年ボランティアサークルで活動している者に対しては、それぞれの活動の幅を広げられるようにスキルアップの機会を作ることとしている。

さらに、サークル会員同士で情報交換を行うことにより、交流を深め、サークルのネットワーク構築につなげる。

3 事業の内容

(1) 学習の内容

①講座「ボランティアについて考える」

講座「ボランティアについて考える」は、村山地区ボランティア活動アドバイザーを講師として実施した。ボランティアに対する意識を高めるためにワークショップ形式で行い、ボランティアについて、それぞれの考えを出し合った。その後、3日間の活動におけるグループの目標を設定した。

②実技講座

3日目の体験実習やその後のサークル活動に活かせるように、折り紙、手品、読み聞かせ・手遊び、幼児遊びなどについて地域の実践者を講師に招き、実技講座を実施した。

また、ボランティアサークルに所属している現役高校生による実技講座（スタンプ・バルーンアート）も実施して、参加者の意識を高めるようにした。

実技講座は2講座選択できるようにして、活動の幅を広げ、様々な場面で活用できるように配慮した。

平成21年度 青少年地域貢献活動ネットワーク事業
かかわりあい まなびあい 集まれ！ 高校生！
YYボランティアセミナー
地域貢献

今年も「YYボランティアセミナー」の季節がやってきます。ボランティアに興味がある人、すでに活動をおこなっている人、皆さんの参加を待っています。特に、ボランティアには興味があるけれど、なかなか行動につなげない人こそ大歓迎です。テーマは「かかわりあい まなびあい 集まれ！」です。同じ気持ちで集まった仲間たちにはもちろん、お年寄りや子どもたちなどいろいろな人が集まり、そのなかから自分に学びがある・・・そんな、新しい自分を見つけるチャンスにトライしてみませんか？

【主 催】 山形県教育委員会
 【主 管】 村山教育事務所
 【期 日】 平成21年6月20日（土）～22日（月）
 【会 場】 〒994-0032 美里赤小路1-7-8
 「山形県青年の家」TEL023-654-4545
 【対 象】 村山管内の中学生・高校生
 ・地域青少年ボランティアサークルへの加入者も歓迎
 【参加費】 ①、500円（食事代、ワークショップ代、保険料など）当日現金
 【持ち物】 ・開演前夜は到着。それ以外は活動しやすい服装（運動着等）とする。
 ・筆記用具 ・活動用具 ・用具（当日提供） ・活動後の場合もあり
 ・着替え ・内ズボン ・参加費 ・保険証（コピー可）
 ・参加申込書（FAXで申し込みの場合）
 【申 込】 別紙参加申込書（保護者印・所属学校長印が必要）に必要事項を記入の上、村山教育事務所社会教育課まで申し込んでください。
 (1) 参加希望する方は、自分で、郵送、又は、FAXにて申し込みください。FAXで申し込みの場合には、参加申込書を当日持参してください。
 (2) 申し込みのしおりは、6月1日（月）です。遅れないように申し込みください。
 (3) 申込書は当日に記入してください。なお、申込書の記載内容は、本事業の目的以外に使用することはありません。
 (4) 応募者が定員を超えた場合には、抽選となる場合もありますので、ご了承ください。
 (5) 参加費は当日現金で、受付期間終了後、村山教育事務所より詳細をお知らせ（日程・参加者名簿・活動記録等）します。



講座「ボランティアについて考える」



実技講座（折り紙）



高校生による実技講座(バルーンアート)

③企画会議

講座「ボランティアについて考えよう」や実技講座などの受講後、班ごとに時間をかけて企画会議を行った。班付指導者（社会教育主事有資格者、市町担当者、サークルOB・OGなど）の指導の下、知恵を出し合い、3日目に実施する体験実習に臨むための準備を行った。

それぞれの実習施設で披露する企画を考え、練習を行った。また、プレゼントなどを作成するために、十分な時間を確保した。

企画会議の途中に班同士で交流する時間を設け、自分たちの活動に活かせるようにした。



企画会議

（2）学習成果を活用したボランティア活動等の内容及び推進の方法

セミナー3日目に、子育て支援センター、幼稚園、保育園、高齢者施設に分かれて、体験実習を実施した。

実習先においては、それぞれの施設の職員の指導の下、来館者や入所者のお世話などの活動に取り組んだ。また、前日までの講座で身につけた技を活かし、20～30分の時間で、読み聞かせ、紙芝居、手品、折り紙、幼児遊び、踊り、寸劇など自分たちが練習したものを披露した。

セミナー後は、それぞれのサークルや学校などで幼稚園や保育園、高齢者施設などへの訪問や各サークルの自主事業を実施する際に、本セミナーで学習した内容や技を活かし、活動の幅を広げている。



子育て支援センターでの実習



幼稚園での実習

（3）推進体制等の仕組み

それぞれの講座等においては、地元で活動している実践者の方や村山教育事務所で委嘱しているボランティア活動アドバイザーを講師に迎え、参加者を直接指導してもらった。

地域青少年ボランティアサークルの担当者には、参加者の取りまとめをしてもらうとともに、その後のサークル活動に活かせるように班付指導者としてセミナーに協力をお願いするほか、サークル会員の活動の様子を視察してもらった。

また、中学校や高等学校の担当教員にも、活動の様子を視察してもらい、その後の学校内での

活動につなげられるよう留意した。

セミナー後には、それぞれのサークルや学校を訪問し、セミナーの様子を伝えるとともに、サークルや学校での活動の様子を聞き取り、ボランティア活動を継続して実施していける体制を作っている。併せて、体験実習を受け入れてもらった施設を訪問し、活動の様子などを伺うとともに、様々な意見を聴取し、活動に反映させるようにした。

4 成果と今後の取組

施設での体験実習を実施する前に、様々な内容を学習することで、それぞれのボランティアに対する意識を高めて、実習に臨むことができた。また、企画会議の前に、実技講座を計画したことにより、講座で身につけた技を活かした出し物などを企画することができた。

本事業は、幼稚園や保育園、高齢者施設などでの実習を想定して、実技講座等を計画していることから、講座の内容が毎年同じようなものになっている。また、参加者の希望する実習先が、幼稚園や保育園に偏っていることから、本事業の趣旨や受入施設の種類及び箇所数等の拡充について、今後検討していく必要があると考えている。

【執筆者の職・氏名】山形県教育庁村山教育事務所社会教育課 社会教育主事 原田 正明